

「2025年の崖」は「巨大市場」だ。地方エネルギー会社のリーダーが仕掛ける O&M 業界 DX 革命。「個人の絶望」から「社会の希望 (MentorPro)」へ

日本の未来を想う盟友対談 小川 聡嗣 (東邦ガスエンジニアリング) × 大谷 吉弘 (ウイングアーク 1st)

日本の O&M 業界が人手不足と技術承継の「静かなる危機」に直面する中、「2025年の崖」を巨大市場と捉え直す。現場の悲痛な声から始まった DX は、個人のスキルをデジタル資産化する「MentorPro」構想へと進化。業界の壁を超え、行政や教育機関とも連携し、未来の技術者を育てる「共創」を目指す。

T2-B03

11.12 15:20 - 15:50

BtoBデータ活用 事例 MotionBoard deJinen DX-AI人材育成 2025年の崖

迫る2025年の崖、技術承継のタイムリミット ～社会インフラを支えるO&Mのラストワンマイル戦略～

ベテランの経験に基づく業務が多いO&M（運用管理・保守点検）の世界では、ベテランの退職と抱い手不足を背景に、技術承継問題が待ったなしの状況です。本セッションでは、この課題に向かい業務効率化と人材育成を加速させている具体的な取り組みをご紹介します。さらに、一社の努力に限らず、業界全体で知見を共有し成長する「業界革新プラットフォーム」構想の全貌を初公開。すぐ使える現場DXから、未来を見据えた持続可能な社会インフラ像まで、DXや人材育成に悩む全ての方に必ず役立つヒントをお持ち帰りいただけます。



東邦ガスエンジニアリング株式会社
DX推進プロジェクトリーダー エンジニアリング営業本部長 (兼務)
小川 聡嗣 氏

30年超の現場経験を武器に、インフラ業界の定年退職に臨む。1992年、三菱重工にて環境プラントのプロセスエンジニアとしてキャリアをスタート。2003年に東邦ガスへ転じ、環境エネルギー政策から多様なエネルギーソリューション（ガス空調保守、地域冷暖房など）の責任者を歴任。一貫して大規模プロジェクトを技術と企画の両面からリード。2024年より現所属会社のファシリテーター兼本部長として、O&M（オペレーション&メンテナンス）事業の抜本的改革を推進。2025年からは、これまでの全ての経験を糧に、全社DX推進プロジェクトリーダー兼エンジニアリング営業本部長を兼務。データとデジタル技術を活用し、インフラ業界のO&Mの新たな価値創造の先頭に立つ。



ウイングアーク1st株式会社
営業本部 リージナル営業統括部 中部営業部 中部第1S
大谷 吉弘 氏

2021年、ウイングアークに中途入社。それまでは飲食店向けの業務システムの営業に従事。ウイングアークに入社後は中部営業部に配属となり、パートナーセールスを中心に一部お客様にはダイレクトアプローチを行い、中部エリアのお客様向けに販売・データ活用基盤の営業を担当している。

大谷 皆様、こんにちは。ウイングアーク 1st の大谷です。本日は UpdataNOW25 にご来場いただき、誠にありがとうございます。私は、中部エリアの営業担当として普段、東邦ガスさんを始め、中部エリアで提案活動をさせていただいております。

さて、今回のセッションのテーマはこちら…「迫る2025年の崖」、皆様も一度は耳にしたことがある深刻なテーマです。しかし、今日ここで繰り返されるのは、単なる問題提起ではありません。この大きな崖を新たな巨大市場に変え、技術者一人ひとりが輝く未来を創ろうとする…一人のリーダーの物語です。早速ご紹介しましょう。東邦ガスエナジーエンジニアリング株式会社小川聡嗣さんです。小川さん、本日はよろしくお願ひいたします。

小川 こんにちは。本日はこのような素晴らしい機会をいただき、ありがとうございます。どうぞよろしくお願ひします。

大谷 それでは、私から小川さんを紹介させていただきます。三菱重工でキャリアをスタートされ、東邦ガスでは環境エネルギー政策やエネルギーソリューショ

ンの責任者を歴任。そして、東邦ガスエナジーエンジニアリングでは、本部長として O&M、オペレーション&メンテナンス事業を抜本的に改革し、現在は、全社の DX 推進もリードされている…まさに、技術と企画、現場と経営、その全てを知り尽くした、インフラ業界のキーパーソンです。

原点は「現場の悲痛な声」。技術承継の失敗が招く未来とは

小川 ありがとうございます。私はこれまで、目の前の課題をどう解決するか、そればかり考えてきました。だからこそ、O&M 業界が抱える課題に強い当事者意識を持っています。経歴には出てきませんが、8年前の2017年、保守の現場を支えるサービス員の連続離職がありました。『小川さん、また一人、若手が辞めてしまった』という現場保守サービス委託先の悲痛な声の原点です。またベテランが定年退職前にこぼす『自分たちが引退したら、この技術はどうなるんだ?』という言葉も引っかかりました。

皆様の会社のベテランの顔を一人、思い浮かべてください。その方がいなくなった時、お客様に『サービスレベルが落ちた』と言わせてしまう未来でいいのでしょうか？本日は、これらの解決策をご紹介します。

大谷 ありがとうございます。では、本日はこの二人で、アジェンダにありますように O&M 業界の現状から、具体的な IT ツール活用や DX の取り組み、そして未来を創る壮大な構想まで、余すところなくご紹介していきます。皆様、どうぞ最後までお付き合いください。では、小川さん、まず皆様に、小川さんがいらっしゃる会社や、O&M 業界についてご紹介いただけますでしょうか。

小川 私達の会社は「モノづくりの集積地」と言われる愛知県に本社がある、東邦ガスグループのひとつです。東邦ガスグループでは、308 万件のお客様に、都市ガスや電気、再生可能エネルギーをお届けするだけでなく、工場や商業施設などで、エネルギーを効率良く使っていただくための、設備の設計、建設、維持管理を手掛ける「エネルギーと設備のプロフェッショナル

ル集団」です。

迫る「静かなる危機」。日本の社会インフラが地方から崩壊する日

小川 続いて、こちらが O&M の現況です。日本には「標準産業細分類」といわれる産業が 1,500 あります。上水道や下水道などの粒の事業が 1,500 あります。その多くで O&M は必要不可欠ですが、貴重なユーザーノウハウが、業界や企業という「サイロ」に閉じ込められています。これは、未開拓の「隠れた巨大市場」と言えます。一方で、加速する人手不足により、事業継続が危惧されます。

ここで未来世代の高校生が O&M を維持するために考えてくれた一分弱の動画を流します。かなり速度の速い動画ですが、原作を尊重しそのまま流します。前半は画像のみ、最後に音声が入ります。『<再生>O&M 仕事って何?…トラブル防ぐ、安心安全稼働を維持…、被害を最小限に…メンテナンスが不十分だと…トラブル防げない…O&M の役割は…安全、長期的な運用を実現…O&M の維持には…、若い人達にまず知ってもらおう。AI を使ってもっと作業効率 UP…』という声がこのほかにも多数ありました。なぜ、これほど重要な仕事の価値や技術が、次の世代に伝わりにくいのか?…ここにも、O&M 業界の課題が隠れています。

大谷 いやあ、若者の率直な意見、非常に新鮮ですね。私たちの快適な生活が、こうした目に見えない O&M のプロの皆様によって支えられている。実は私達ウイングアーク 1st も、様々な業界の DX をお手伝いする中で、この「実践知のサイロ化」こそが日本全体の DX を阻む最大の課題だと感じています。そして、その O&M の現場が今、非常に厳しい状況にあると伺いました。

小川 その通りです。2030 年代に地方都市の O&M は、現場の担い手不足から、崩壊していくかもしれません。社会インフラは、自治体消滅同様、地方から崩れていきます。このままでは、地方の社会インフラの品質維持は困難になる…これは、もはや「静かなる危機」だと私たちは捉えています。

大谷 「静かなる危機」…非常にインパクトのある言葉ですね。その危機に対して、具体的にどのようなことから着手されたのでしょうか。

まずは「現場の孤独」を救え。8 年がかかりで築いた「守りの DX」

小川 私たちの DX は、現場で戦う一人の仲間を救うことから始まりました。私たちの主力商品の一つ…「ガスエンジンで動く業務用エアコン GHP」。写真のように炎天下の屋上で、たった一人で奮闘する保守サービス員がいます。数年前まで、彼らの武器は「紙のマニ

ュアル」と「自らの経験」だけでした。これでは、匠の技どころか、基本技能すら伝承できない…。「静かなる危機」は、私たちの足元にも、確実に忍び寄っていました。

「守りの DX」は、この「現場の孤独」を解消するために 8 年前に始まった「小さな改革」の積み重ねです。ご覧の通り、第 1 ステージで「社内業務プロセス」を、第 2 ステージで「顧客接点」の業務を、それぞれ一気通貫でデジタル化しました。

このデジタル化のプロセスの多くで、ウイングアークさんの製品を活用しています。古くから帳票基盤「SVF」やデータ分析基盤「Dr.Sum」で足元を固め、近年では電子帳票「invoiceAgent」で取引先との紙のやり取りを減らし、そして BI ツール「MotionBoard」や AI エージェント「dejiren」で、現場のデータ活用を一気に加速させました。

目指したのは「システムの個別最適」ではなく、データで全体を繋ぐ「全体最適」です。これにより、システム運用負荷の軽減と、データ活用基盤の構築を実現しています。そして現在、第 3 ステージ「AI 活用」に取り組んでいます。

小川 デジタル化推進の象徴としては、まず、ベテランサービス員の「経験と勘」をデータに変えました。「i-Reporter」で作業報告書をデジタル化し、データを、基幹システム「Dr.Sum」に蓄積します。しかし、データはそのままでは無価値です。そこで導入したのが BI ツール「MotionBoard」でした。37 万件の故障データデータを元に「故障診断支援システム」を作りました。ベテランの「経験と勘」に頼っていた現場が「データ」という共通の武器を手にした瞬間です。

小川 MotionBoard の故障診断システムに、エラーコードなどを入力すると、季節も加味した修理方法をレコメンドしてくれます。これにより、若手でも「一発修理」できる確率が高まりました。しかし、データだけでは、現場の孤独を完全に救うことはできません。

GHP 保守サービスは、東邦ガスと保守サービス委託会社が連携する…まさにチーム戦です。リアルタイムな情報共有も求められます。そこで、今、AI エージェント「dejiren」の活用を始めています。これにより、リアルタイムで仲間と繋がる、まさに「現場を孤独にさせないサポート」が実現しつつあります。

このように、ウイングアークさんの製品は、私たちの DX のステージが上がる度に現れる新たな課題を解決してくれる相棒として、いつも私たちを支えてくれています。

大谷 素晴らしいですね。「勘」が「デジタル資産」に変わり、データという共通言語で現場が繋がっていく…。まさに DX の理想的な進化ですね。しかし小川さん、これはあくまで「守り」。つまりデータを整備した後、社会全体の資産に変える「攻め」が必要だった

ということでしょうか。

小川 その通りです。ここからが、私たちの本丸…「攻めのDX」。未来を賭けた挑戦です。

「攻めのDX」へ。個人の経験を、業界全体の「デジタル資産」に変える挑戦

小川 こちらが「攻めのDX」で、現在、第4ステージ「デジタルノウハウの開放」に取り組んでいます。

大谷 「2025年の崖」「遠出やマインド」「MentorPro構想」など、気になるワードがたくさんありますね。一体どんなことを考えているんですか。

小川 2018年に政府が警告した「2025年の崖」を受け、翌年、理想未来からの逆算思考で「デジタル化全体構想」を描きました。「遠出やマインド」や「mi-kansei」は、行動哲学です。

そして、私と大谷さんとの出会いは、2024年の春、BIツール「MotionBoard」の営業でご来社いただいたときでした。当初から日本初の世界に通じるプラットフォームを作りたい、やるからには純国産製品で、という思いがありました。MotionBoardが純国産のBIツールであったことも導入のきっかけです。

そして今年、2025年は、MentorPro構想に取っ手をつけて持ちやすくし、構想を広める一年です。将来は、MentorProパディという公式な共同体をつくり、シリーズ展開を経て、海外進出を目指します。輸出産業をO&M側から支援します。設備と共に、O&Mの実践知のプラットフォーム「MentorPro」を輸出します。もちろんMotionBoardと共にです。

大谷 いよいよ本題ですね。その名も「MentorPro」…。小川さん、これは一体、どういうものなのでしょうが？

核心構想「MentorPro」— それは技術者のための“キャリアアップ・アドベンチャー”

小川 MentorProとは「希望」です…。個人の経験が、企業の壁を壊し、社会全体の「希望」に変わる、それを形にしたのが、技術者のための新たな舞台…「MentorPro」です。そのコンセプトを一言で言うならば…「O&M技術者のための、キャリアアップ・アドベンチャー」です。

大谷 キャリアアップ・アドベンチャーですか。単なる業務ツールではなく、技術者自身のキャリアをデザインする仕組み、ということですね。なんだかゲームのようでワクワクしますね。具体的には、どんなことができるのでしょうか？

大谷 もし、あなたの隣に、いつも寄り添ってくれるベテランの師匠がいたら、どうでしょうか？…もし、あなたの頑張りが、会社を超えて通用する一生モノの資産になったら、ワクワクしませんか？…

こちらの表をご覧ください。これまで現場では、何かあっても頼れるのは自分の経験と勘だけ。スキルもなかなか評価されず、キャリアは会社の中で閉じていました。

それが、MentorProの世界では一変します。AIや全国の仲間と繋がり、孤独な現場は「共に闘う現場」へ。頑張りやスキルは「デジタルバッジ」という資産になり、ゲームのように成長を実感できます。そして、デジタルバッジは会社の外でも通用する「実力の証明書」となり、キャリアの選択枝が広がります。

大谷 いったい、なぜ、そんな壮大なことが今、実現できるようになったんですか？

小川 ベースとなるのは、もちろんO&Mのビッグデータ、ユーザーノウハウです。そして3つのテクノロジー、BIツールとAI、ブロックチェーン技術を活用したNFT、すなわち個人のスキルや実績を資産化するデジタル証明、この3つのコア技術が「希望の光」となりました。

これらにより、メーカーだけでなく、多くのユーザーが持っているデータ・ノウハウを社会の資産にできます。

大谷 デジタル証明ですか。つまり、ゲームのように、頑張りが、目に見える形で証明される…ということですね。改めて開発コンセプトを教えてください。

「囲い込み」から「共創」へ。なぜ東邦ガスは自社のノウハウを開放するのか

小川 MentorProは…「オープンな世界で活躍できる人材の育成と流動を促します」…。MentorProが目指すのは…「つながり」「学び」「助け合う」ことで、個人の暗黙知を業界全体の「デジタル資産」に変え、社会インフラの「維持・成長」に貢献する世界です…。全国の悩める中小事業者をワンチームにします…。

当初は、GHP保守サービス員の囲い込みを想定しましたが、方針転換しました…。それは、企業内で人材を囲い込むという小さな考えは捨て、業界全体で人材を育成・流動させるという遥かに大きな市場を創造する戦略的な方針転換でした。

大谷 小川さん、ここまで壮大な構想を伺っていましたが、ここからは、技術者たちが冒険を進めるための具体的な「道具」、つまりアプリケーションの機能について教えていただけますか？

小川 こちらが、MentorProを支えるアプリ

「Knowhat」、冒険の入り口となるログイン画面です。

最大の特徴は、Gmailなどでログインできる手軽さと、その裏側にある「unWallet」というブロックチェーン技術です。これにより、ユーザー自身のスキルや経歴といった大切なデータを、会社ではなく「個人が主権を持って管理する世界」を実現します…。「自己主権型」この考えが非常に重要です。

大谷 自分のデータは自分で守り、活用する時代なんですね。ログインした先には、どんな世界が広がっているんですか？

小川 そこには、もう孤独な現場はありません。いつでも相談できる「AI 質問箱」、アバターを着たベテランと話せる「会議室」、全国の仲間と悩みを共有できる「掲示板」など…、まさに RPG の「ギルド」や「相談所」のような機能で、技術者同士が繋がり、助け合える空間が広がっています。会議室や掲示板での会話は、全てテキスト化、特殊加工され、AI は日々賢くなっていきます。

大谷 仲間と繋がる…、現場の心理的安全性も高まりそうですね。頑張った成果は、どのように認められるのでしょうか？

小川 そこが MentorPro の核心部分です。現場での経験や、クリアしたミッションは「教育訓練・資格・講習」などのスキルマネジメント体系に基づく「スキル認定」を経て、改ざん不可能な「デジタルバッジ」として記録されます。これは、ステージランクやランク内の順位で成長・キャリア形成を可視化できるだけでなく、会社の枠を超えて通用する「一生モノのデジタル資産」となります。

そして、こちらが MentorPro GHPFix の利用者の声です。確かな喜びの価値を届けています。

大谷 スキルが資産になる。技術者の働き方が、根底から変わりそうですね。私たち BI ツールの専門家から見ても、膨大な現場データを『個人の価値』にまで昇華させ、技術者の不安や課題を、テクノロジーとの繋がりで見事に解決しています。

構想は「森づくり」へ。教育現場と連携し、未来の「担い手」を育て

大谷 さて、プレゼンもいよいよ最終章です…。スライドのタイトルにある「MentorPro の森づくり」…これは、一体どのような未来なんでしょうか？

小川 MentorPro 構想は、GHPFix だけでは終わりません。ここからは、未来構想「MentorPro の森づくり」についてお話しします。

私たちは、GHP 分野でデータ活用・キャリアアップ支援の仕組みとして「GHPFix」を確立しました。この仕

組みを起点に、個人のスキル、実績、貢献という「信頼」が、組織や会社という枠を超えて所有できる「デジタル資産」となりました。そして、O&M のあらゆる現場には、まだ光が当たっていない「実践知」が眠っています…。

「実践知と人材」を O&M 業界全体で見守り、人材をポジティブに流動させることで、社会インフラを維持する。この構想は、その可能性を秘めています。プレイヤー側の視点でいうと、O&M に興味を持った人は、O&M 業界の中を渡り歩き、自身のキャリアを極めていくイメージです。

大谷 一つの業界から、社会インフラ全体へ…。まさに「実践知のプラットフォーム」ですね。業界・企業の「サイロ」を越えて、ユーザーノウハウを「社会の共有財産」にするという、日本の O&M 業界全体をアップデートする壮大なビジョンにワクワクします。

小川 これは決して夢物語ではありません。こちらが、構想の展開ステップです。まず東邦ガスグループは Phase I、MentorPro の第一弾…GHPFix による O&M 変革を実践します。GHP 業界における技能承継の成功モデルを確立します。東邦ガスグループは GHPFix までです。

その先、Phase II は「喜びの価値の提供範囲」を拡大するステージです。ここからは「オープン・イノベーション」によって、私と志を同じくするパートナーと共に、新たなスタンダードを創り上げたいです…。

将来、売上や利益といった従来の指標よりも「社会システムの維持にどれだけ貢献したか」というデータの価値、すなわち「データ資産」そのものが評価される時代が来ると確信しています…。そして、Phase II の先で、二度目の方針転換をしました。

大谷 「喜びの価値の提供」ですか。Phase I、II で業界の「今」を救う…。それでは、Phase II の先にある、さらに戦略的な方針転換について、具体的に教えていただけますか？

小川 それがこの「MentorPro for Education 構想」です。本構想は、単なる技能承継から、未来の「担い手」そのものを育てる、教育分野との「共創」です。例えばマイナースポーツが、競技人口が少なくとも熱狂的なファンに支えられているように、O&M の仕事も、社会を支える『プロフェッショナルな世界』です。

これまで「人を定着させる」ことに注力してきましたが、視点を増やしました。「どうすれば、この O&M の仕事の奥深さや面白さを、未来世代に正しく伝え、ミスマッチなく仲間になってもらえるか」… その答えが「頑張りの資産化」です。社会人になってから身につけたスキルをバッジ化するだけでなく、学生時代の挑戦や貢献も「デジタル資産」として持ち運べるようにします。

大谷 学生時代の頑張りや、社会で通用する「資産」になる…。まさに、キャリア教育の革命ですね。その具体的な仕組みや構成が、このスライドですか？

小川 はい。未来世代に、O&M の仕事の面白さや社会的な意義を知ってもらうために、バーチャル空間での職業体験や、探究学習の授業と連携します。そこで生まれた彼らの挑戦や学びを「デジタルバッジ」として資産化します。ボランティアなど多様な社会貢献の実績も、全てが彼らの資産となります。MentorPro の売上の一部は部活支援に投資します。これにより、学生、先生、企業、社会、そして保護者の「五方良し」の世界を創ります。そのためにも「自己主権型のデータ管理」が必須でした。

大谷 素晴らしい…。「オープンバッジ」の活用で、教育と社会をシームレスに繋ぐ挑戦ですね。しかし、これほど壮大な構想は、もう始まっているんですよね？

小川 はい。実践中です。例えば探究学習では、外部の学習プラットフォーム「StudyJam」を活用し、未来世代が、O&M 業界の「リアルな社会問題」の解決に挑戦しています。こちらの写真が、先月 10 月 6 日、愛知県立豊橋工科高校での探求学習の授業風景です。

大谷 高校生ですか。彼ら・彼女らの視点は、私たちにとっても刺激になりそうですね。

小川 その通りです。こちらが O&M の課題解決に取り組んだ 2 年 A 組の成果です。一例として、本日の冒頭で、ゆずさんの動画に、まきさんの動画音声を足した作品をご覧くださいました。今回、約 40 名の高校生が、O&M という職業を初めて意識し、情報発信してくれました。私たちは、彼ら彼女らを、単に「教える対象」とは見えていません。未来を共創する「仲間」であり、すでに MentorPro 構想にヒントを与えています。彼ら彼女らが、未来の希望です。

大谷 高校生が、単なるインターンではなく「共創バディ」として、リアルな社会問題の解決に参加する。…MentorPro 構想のスケールは、私の想像を遙かに超えていました。これはもう、企業の枠、世代の枠を超えたオープン・イノベーションそのものですね。

あなたも「指側」になれ。未来を共創する「バディ」への呼びかけ

小川 その通りです。この壮大な構想は、一企業では到底実現できません。また、未来創造には政治の力も必要です。これから私自身、そこにも注力していきます…。

皆様にお伝えしたいのが、この「共創体制」です。GHPFix の次のステージ、MentorPro の森づくりの構想を私と共にデザインして下さるオーナー企業との出会いも求めています。新たな業界標準となるプラットフォームをデザインし、社会問題を一緒に解決しま

せんか？

また、本日は、本構想をこれまで一緒に育てていただいた、スライドに記載の企業様にも多数ご参加いただいています。この場をお借りしてお礼申し上げます。

大谷 小川さん、業界、教育、そして行政をも巻き込む「バディの輪」の社会的意義が、会場の皆様にも伝わったと思います。それでは最後にこの会場の皆様へ、メッセージをお願いします。

小川 本日はありがとうございます。今回のテーマ「2025 年の崖」という大きな危機は、見方を変えれば、業界や組織の壁を壊して、日本の未来を共創する絶好のチャンスです。「また一人、若手が辞めてしまった」という悲痛な声から始まったこの物語は今、未来を創る希望に変わろうとしています。

(スライドの WA1 ポーズを指し) このポーズは、敬愛するウイングアーク 1st さんのポーズです。そして、今の私にとっては「O&M のラストワンマイルを担う、中小事業者をワンチームにする」という誓いのポーズです。そして本日、私は「この指とまれ」をするために、この場にきました。しかし、皆様には、単にこの指にとまってほしいわけではありません。皆様自身が、それぞれの場所で「この指とまれ」と発信する「指側」になってほしいのです。この物語の主人公は皆様かもしれませぬ。

そして、MentorPro 構想は誰のものでもありません。本日は、地方のエネジー会社のひとりとして、全国の社会インフラが、これからも存続し、次の世代も豊かに暮らすことを願い、登壇しました。早期に MentorPro のある世界を実現できるのであれば、皆様に本構想をアレンジし、実現してもらっても構いません。それほど実現したい構想です。

最後に、この壮大な冒険を支える行動哲学「とうでやマインド」をご紹介します。この言葉は「透明性を愛する」「できっこないことをやってみる」「やがてみんなを豊かにする」という 3 つの物語のかしら文字を繋げたものです。これは「明日から遠出や」と心躍るように準備、行動し、その体験を広めることで、周囲に喜びを提供する姿勢を示しています。

私たちは、とても遠くを目指しています。遠出をします。未開の地に辿り着くには、大きなパーティが必要です。次に、お会いするときはぜひ「MentorPro バディ」としてお会いしましょう。

本日は、本当にありがとうございます。

大谷 小川さん、ありがとうございます。

(セッション終了)

Updata
NOW 25

迫る2025年の崖、 技術承継のタイムリミット

～社会インフラを支えるO&Mのラストワンマイル戦略～

東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社
DX推進プロジェクトリーダー
エンジニアリング営業本部長
小川 聡嗣



© 2025 Toho Gas Energy Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

20251105

登壇者プロフィール①



小川 聡嗣
Soshi OGAWA

2025年09月

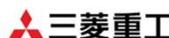
東邦ガスエネルギーエンジニアリング(株)
DX推進プロジェクトリーダー
エンジニアリング営業本部長

経歴

- 1992年 三菱重工業株式会社に入社。化学プラント技術センターMCEC（横浜）にて環境プラントの**プロセスエンジニア**として従事。
- 2003年 東邦ガス株式会社（本社名古屋）に入社後、技術部 機械・環境技術、企画部 **環境エネルギー政策** 東京担当を経験。
- 2013年 営業本部へ異動。エネルギー計画部エンジニアリングマネジャーとしてガス空調GHP保守等の**エネルギーソリューション**を経験。
- 2024年 東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社ファシリティーマネジメント本部長就任後、**O&M事業の改革**を推進。
- 2025年 全社**DX推進プロジェクト**（部格）のプロジェクトリーダーを兼務。エンジニアリング営業本部長（兼務）就任。

大切にしている価値観 ～なぜ今、私がこの場所に立っているのか～
『遠出や（とう・で・や）』マインド<A>、『mi-kan-sei』であり続ける<A>、
いいこと起こす『ビジネス思考の方程式』、『制約を創造の力に変えていく』

<A> : Appendix参照



東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社

© 2025 Toho Gas Energy Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

AGENDA

01

イントロダクション：現状

02

ITツールの活用：As-Is➡To-Be

03

O&Mの未来・DXを共創する「MentorPro」

04

GHPFixから始まる未来構想「MentorProの森づくり」

Appendix



イントロダクション

～会社・ガス空調GHP・O&M業界のご紹介～

01



会社紹介

(1922 東邦ガス(株)設立) 1985 東邦ガスエンジニアリング(株)創立
 2024 東邦ガスとの組織再編により、社名を東邦ガスエナジーエンジニアリング(株)に変更

At a Glance 地域編

東邦ガスグループは、日本経済の大動脈である
 中京大都市圏の経済・暮らしを支えています。
 愛知・岐阜・三重の東海三県を基盤としながら、
 国内外のさまざまなエリアにおいて事業分野
 の拡大を進めています。

人口
 約 1,122 万人
愛知 岐阜 三重 (愛知のみ)

製品出荷額
 約 71 兆円
愛知 岐阜 三重 (愛知のみ)

賃借輸出額
 約 22 兆円
愛知 岐阜 三重 (愛知のみ)



At a Glance 数値編

出典：統合レポート2025より



O&M業界の現況

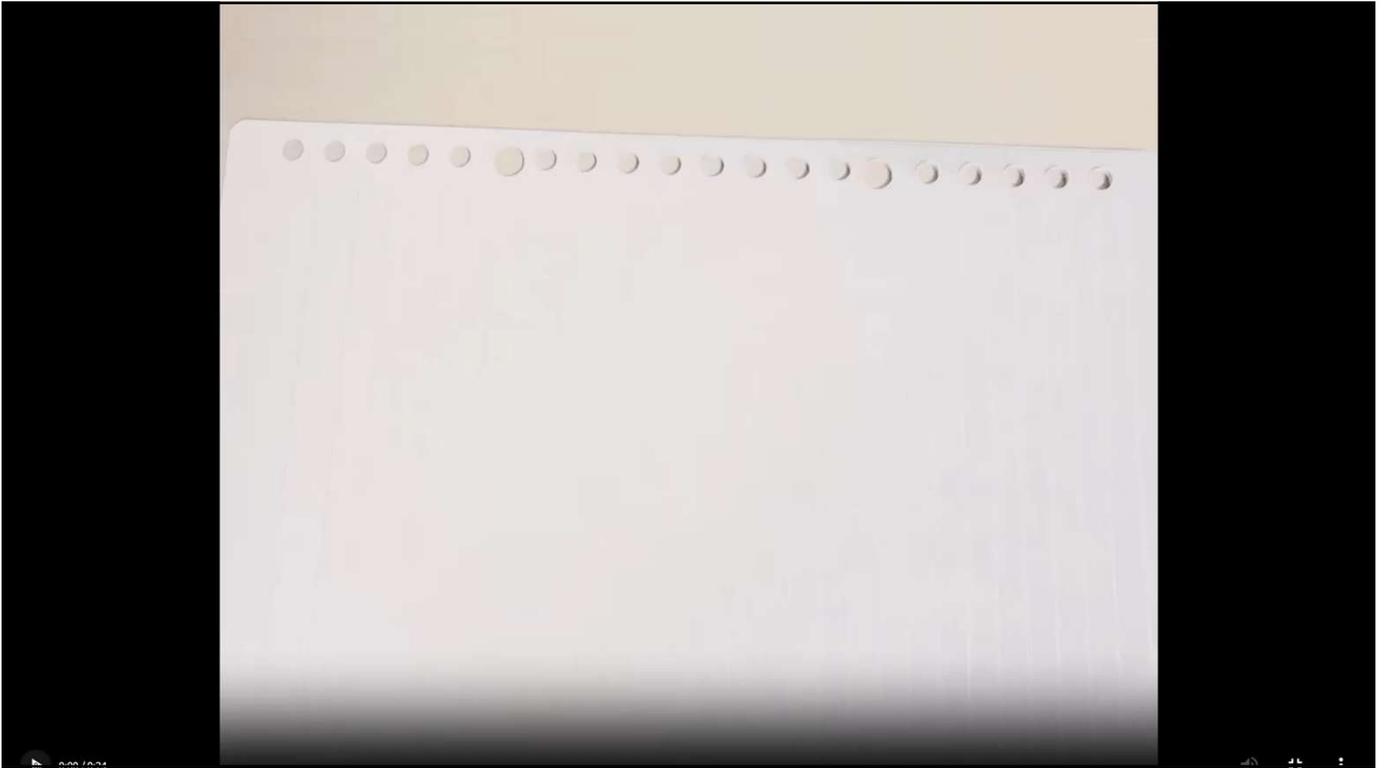
隠れた巨大市場：1,500の"サイロ"に眠るO&M

(Operation & Maintenance、運用・保守)

日本の約1,500の標準産業細分類に不可欠なO&Mのノウハウは、企業のサイロに閉じ込められています。この垣根を越えた知見の連携は、新たな価値を生む未開拓の巨大市場です。



市場規模と成長性 加速する人手不足 事業継続の危機 DX推進の本格化 業界イメージと育成課題



O & M、崩壊



2030年代

静かなる危機

壊



ITツールの活用 : As-Is → To-Be

～「静かなる危機」を、業界全体が変革を遂げるチャンスへ～

02

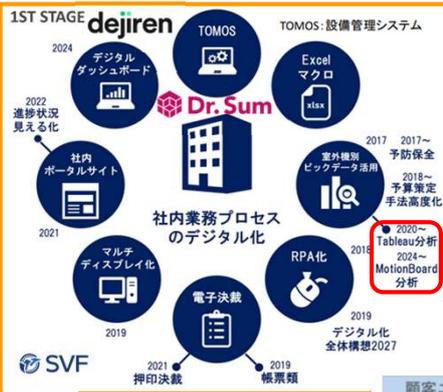


DXの軌跡①守りのDX

ガス空調GHP保守サービスの守りのDX



(Gas engine Heat Pump、ガスヒートポンプエアコン)

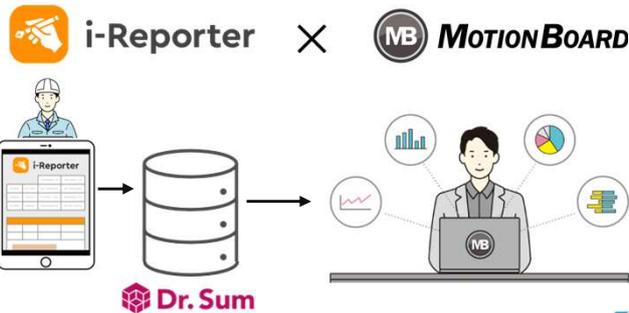


ガス空調GHP



i-Reporter × Dr.Sum × MotionBoard

ベテランの「経験と勘頼り」、データの「サイロ化」、現場の「孤独」という課題がありました。ここに**MotionBoard**を導入し、故障データをBIダッシュボードで「見える化」することで、故障診断の最適化を実現しました。



ガス空調の保守メンテナンス故障に伴う現地対応



- ・過去修理履歴
- ・メーカー別修理内容などの可視化

MOTIONBOARD



MotionBoard Cloud × dejiren

- ・ サービス員が現地調査や作業の際に、過去の履歴などの類似事象の可視化ツールとして**MotionBoard Cloud**を利用
- ・ 今後は、現場でウェアラブルカメラの活用や、コミュニケーションツールとして**dejiren**などとの連携を目指していく



東邦ガス

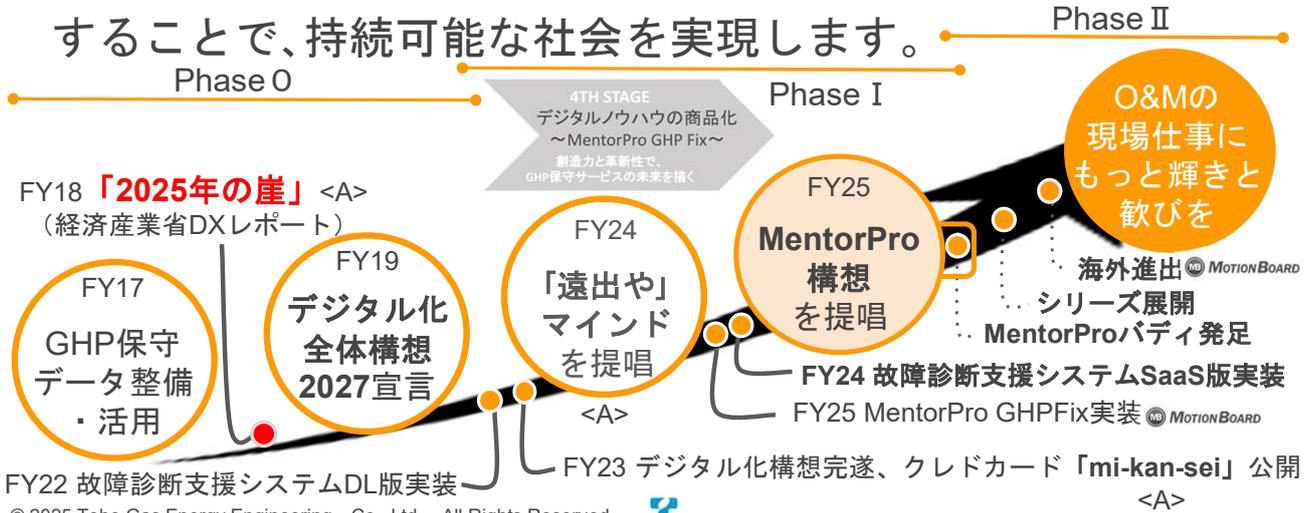
サービス会社

東邦ガスエナジーエンジニアリングとサービス会社とのコミュニケーションツールとしてdejirenの活用



GHP保守から、あらゆるO&M領域へ

現場の担い手の創造力を解放し、インフラを守る価値を共創することで、持続可能な社会を実現します。



O&Mの未来を共創する「MentorPro」

～技術者の、技術者による、技術者のための

キャリアアップ・アドベンチャーの舞台～

03



MentorProが提供する「新しい働き方」

AI→隣にいる師匠。もう一人で悩まなくていい。

NFT→価値を証明する消えない勲章。一生モノのデジタル資産。

現状 (Before)	MentorProの世界 (After)
孤独な現場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決策は自分の経験と勘だけが頼り ・ 社内にしか相談相手がいない 	繋がる、共闘する現場 <ul style="list-style-type: none"> ・ AIが最適な解決策を提案 ・ 全国の仲間と知恵を共有できる
見えないスキル <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張っても給与以外で評価されにくい ・ 経験やノウハウは「個人の暗黙知」のまま 	見えるスキル (NFT) <ul style="list-style-type: none"> ・ スキルや貢献をデジタルバッジで資産化 ・ ゲームのようにレベルアップを実感
閉じたキャリア <ul style="list-style-type: none"> ・ 転職や独立の際にスキルの証明が困難 ・ 会社の枠を超えた活躍の場が少ない 	開かれたキャリア <ul style="list-style-type: none"> ・ バッジがどこでも通じる実力の証明書に ・ 会社や地域を超えて活躍の選択肢が広がる

テクノロジー：なぜ今、実現できるのか ～希望の光～

「MentorPro GHPFix」の核は、5万台超のGHP保守から得た膨大なデータとベテランの知見、そしてAI等を活用したキャリアアップ支援「MentorPro」の開発・運用実績です。

コア技術	役割	サービス
BI (Business Intelligence)	データ分析と専門知識の蓄積が、競争優位の源泉です。	 MOTIONBOARD
AI (人工知能)	膨大なデータから最適解を瞬時に導き、技術者の判断を力強く支援します。	 MentorPro AI-RAG
Blockchain/NFT	個人の「信頼」を改ざん不能なデータで証明し、組織を超えた価値を保証します。	 unWallet

MentorPro 開発コンセプト

MentorProは、オープンな世界で活躍できる人材の育成と流動を促します。最高のMENTORとして、真のPROを育みます。社会に貢献するあなたの行動を、互いに見守り、承認し合い、選択肢を広げるクラウドサービスです。



つながり・学び
・助け合う



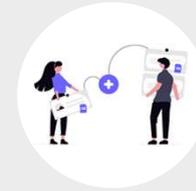
暗黙知を
デジタル資産へ



スキルや貢献を
デジタルで証明



社会や心のインフ
ラの維持・成長

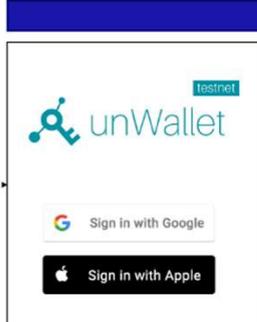


業界全体を
一つのチームへ



多彩なサポート機能①<A>

Knowhat機能紹介：自己主権を尊重する「ログイン（ログアウト）機能」



Gmail等で簡単にunWalletでログイン

***unWallet、ユーザー同意書**

本同意書（以下「本同意書」といいます。）は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

第1条 目的

- 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。
- 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。
- 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

第2条 適用

本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(1) 本サービスとは、unWallet、および本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(2) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(3) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(4) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(5) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(6) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

(7) 本同意書は、本サービスの提供を受けるユーザーの皆様と本サービスの提供を受けるユーザーの皆様との権利保護と関係が目的とされています。本サービスの利用に際しては、本同意書と並行して以下のとおり、本同意書に同意いただく必要があります。

同意する

同意しない



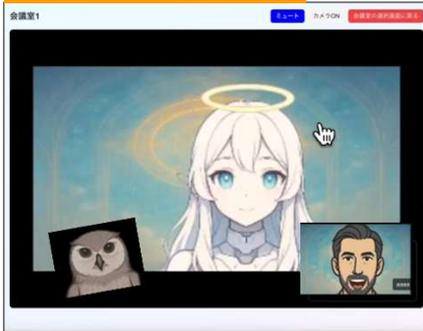
多彩なサポート機能②<A>

- スキル体系化
プロが作った「賢者の地図」
- 挑戦課題
進化し続ける「クエスト」
- 相談所
仲間と繋がる「ギルド」
- 評価の可視化
立ち位置がわかる「称号とランキング」

AI質問箱



ベテランへの質問



技術者スペース



多彩なサポート機能③<A>

- スキル体系化
プロが作った「賢者の地図」
- 挑戦課題
進化し続ける「クエスト」
- 相談所
仲間と繋がる「ギルド」
- 評価の可視化
立ち位置がわかる「称号とランキング」

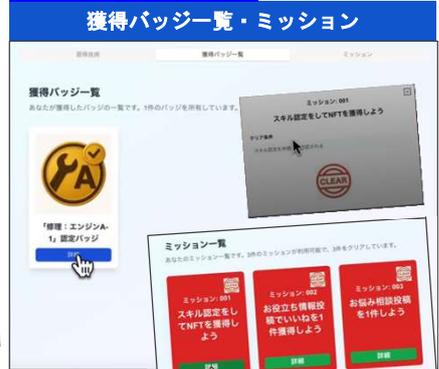
スキル認定



キャリア形成



キャリア形成



MentorPro構想利用者の声

若手技術者:

エラーコードを前に悩む現場。MentorPro(AI)が過去の修理傾向と具体的な処置を瞬時に提示してくれた。まるで経験豊富な先輩が『このパターンだ』と導いてくれるよう。診断に自信が持てるようになりました。

ベテラン技術者:

俺の技術がAIを通じて『形として残る』のが嬉しいね。後輩からの“教えて電話”が減って、自分の作業にも集中できるようになった。俺の経験が、こうして受け継がれていくが嬉しいね。

経営者:

採用で『ウチはAIがある』とアピールできるようになって、若手も安心して飛び込めるようになった。ベテランの知見が“会社の財産”としてAIに蓄積され、技術が受け継がれていく。この流れは、経営者として本当に嬉しいね。



MentorPro

GHPFixから始まる未来構想 「MentorProの森づくり」

～オープンな世界で活躍できる人材の育成と流動を促す～



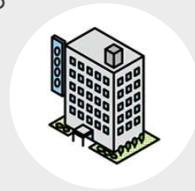
04



MentorProの森づくりのコンセプト

GHP分野でデータ活用・キャリアアップ支援の仕組みとしてみGHPFixを確立。本仕組みを起点に、個人のスキル、実績、貢献という「信頼」が、組織や会社という枠を超えて所有できる「資産」となります。人材を業界全体で見守ることで社会インフラを維持できます。

例えば、こんな現場にも...



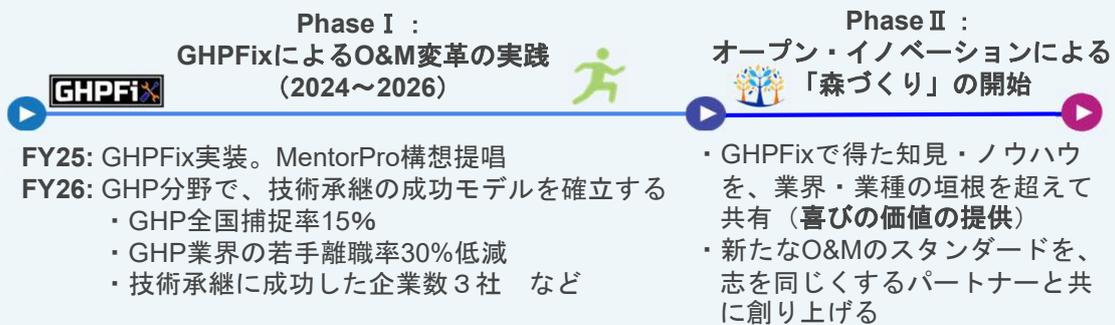
ビル・
施設管理



社会
インフラ

構想の展開ステップ

MentorPro構想は、O&M業界が静かなる危機を乗り越え未来を共創する羅針盤です。GHP保守を礎に業界プラットフォーム構築、そして教育事業へと続く壮大な旅路です。



Phase III : MentorPro for Education 構想

教育・キャリア支援ツールを連携させ五方よしを実現。信頼性の高いデジタルバッジを軸に、若者が自ら未来を拓く「才能の交差点」「心のインフラ」を目指します。

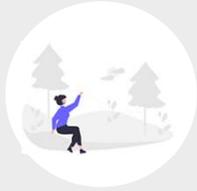
StudyJam



職業体験



探究学習



社会貢献



部活動支援

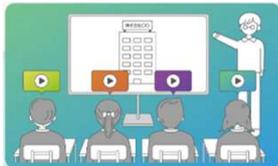


ピアサポート

地域の未来を、地域の若者が創る物語

「担い手不足」と「探究学習」を繋ぎ、高校生の挑戦をデジタル資産化してキャリア形成を支援。O&M課題の探究成果は、MentorPro構想にも反映します。

StudyJam



高校生がO&M業界のリアルな課題解決ミッションに挑戦！



愛知県立豊橋工科高校にて
10月6日、12月上旬に
探究授業開催

未来の仲間集め③探求学習

頼りになる、未来世代！

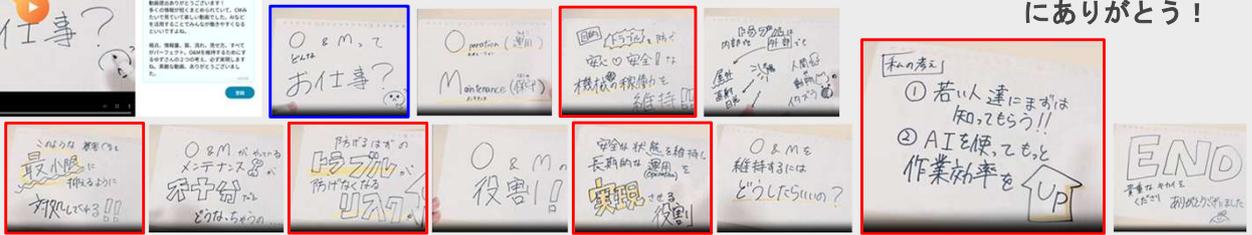


37名の高校生が、独自の視点で、O&Mを維持するアイデアを出してくれました。

- YouTube、Instagram宣伝の活用
- AIやロボット、データの活用
- 多岐な業界の小学生へのO&M業界のアピール
- 企業説明会で若者へ向け
- ドローンセンサーを用いて効率的に点検をする
- VRで作業トレーニングをする
- 学校、施設専門の人などの専門職にすることで効率的に仕事する
- 優良施設をつけて点検・修理をしていく（重要でない部分は頻度を落とす）
- 地域の人とつながりを大事にする
- 作業手順の標準化
- 設計な先入観を持たないように工夫する
- 人と機械が一緒に仕事する
- 夢を叶える
- 会社間で作業を分担する



愛知県立豊橋工科高等学校2年A組のみなさん、本当にありがとう！

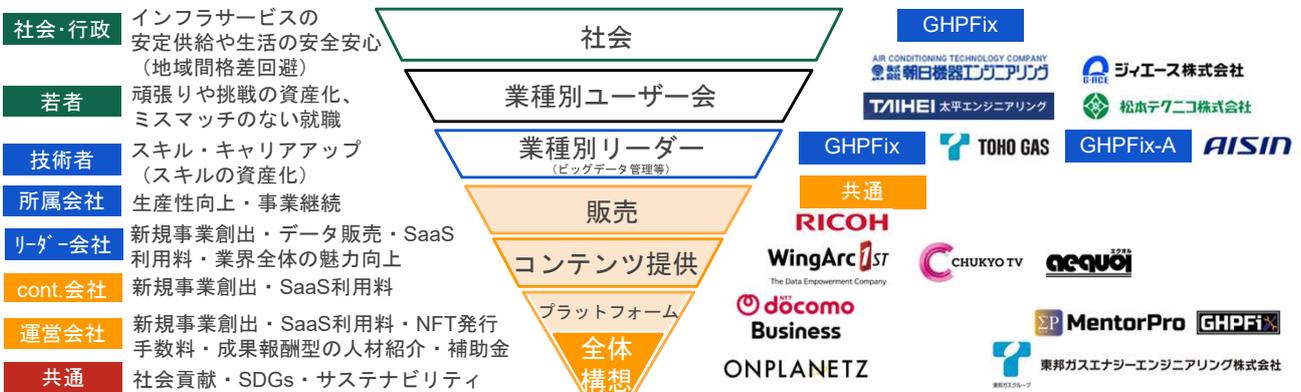


MentorPro バディ

MentorPro

MentorPro“共創”体制

MentorPro GHPFixに続く、本構想の“次のステージ”をデザインし、牽引くださる企業との出会いを求めています。



価値と便益の流れ

本日も伝えたいこと

MentorPro 

迫る2025年の崖、 技術承継のタイムリミット ～社会インフラを支える O&Mのラストワンマイル戦略～

 MentorPro 



© 2025 Toho Gas Energy Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.



29

Appendix

A ppendix

© 2025 Toho Gas Energy Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.



30

『遠出や（とうでや）』マインドはSDGs、サステナビリティに通じる

私たちが大切にしている価値観は『遠出や』マインドです。これは『明日から遠出や』と心躍るように準備、行動し、その体験を広めることで周囲に喜びを提供し続ける姿勢を表します。



『トランスフォーメーション宣言』

7つのコンセプト（とう・で・や+4C）を柱にDXを推進しています。



ガス空調GHP



ガス空調GHP

(Gas engine Heat Pump、ガスヒートポンプエアコン)

GHPはガスエンジンで動く業務用エアコンで、少ない電力でパワフルな冷暖房を実現します。東邦ガスは1987年以来38年の経験を活かした保守で機器の長期利用を支えています。



最新モデル



使用先業種例



東邦ガスのGHP保守



主な輸出先(メーカー)



ストック数 当社/全国

基本契約とOPサービス

MentorPro

故障診断支援システムとOption：熟練者の「勘と経験」を「データとAI」で再現

故障診断支援システム ECONNECT-AIR

MOTION BOARD

故障状況をメーカー、能力、型式、エラーコード、日付で絞り込み

おすすめ!! (全メーカーのGHPに対応)

- 全21万件の修理データより過去の修理履歴・対象部品を表示
- 指定日の前後一か月表示機能 (季節特有の修理を特定)
- レアな修理も特定可能 (故障件数を少ない順に表示も可能)

さらに!!

- 不具合の詳しい内容を知りたい
- 処置の詳しい内容を知りたい
- 補足情報があれば内容を知りたい

テックシアター

熟練技をいつでも、どこでも動画で学ぶ。職人技の伝承は「背中を見るから動画を見る」時代に

VideoStep

元気予報

毎朝メールに今日の元気や気分を入力するだけの簡単なオープンコミュニケーションツール!

MOTION BOARD

Knowhat機能紹介：自己主権を尊重する「ログイン（ログアウト）機能」



【Tips】
 今回はユーザーログインには、ブロックチェーンウォレット (unWallet) を採用している。

ブロックチェーンウォレットは誰の管理下でもなく、自分自身で暗号化された鍵を持ち、自分で所有するデジタルデータ (ハッシュNFT等) を管理する仕組み。

ブロックチェーンウォレットが1つあれば、それがログインアカウント代わりになり、色々なサービスに自分の持つデジタルデータを接続できるため、デジタルデータとして記録した様々な実績やスキル証明をNFTに置き換え、自分の管理下で他者に開示することができる。

個人情報の取り扱いについては海外でも取り締まりが強くなっている背景もあり、今後は、個人のデータが大きい企業に握られている中央集権型ではなく、個人の主権に委ねられた自己主権型 (分散管理型) の世界がスタンダードになりうる。

Knowhatでは、unWalletをインストールすることで来た上記の世界にいち早く対応した形となる。

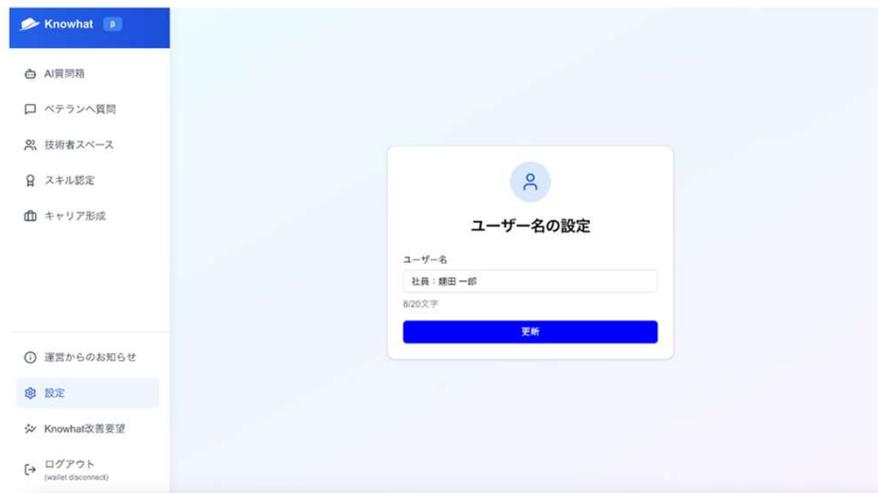
なお、Googleアカウントに紐づくウォレットには、自身の実績・実績がインポートされていくが、他者に転送できない仕組みとしている。

そのため、会社のGoogleアカウントの場合は、失効した際に実績等の資産を失うこととなるため、紐づけるGoogleアカウントは、個人のメールアドレスを推奨する。(自己主権のもとでの自己責任。)

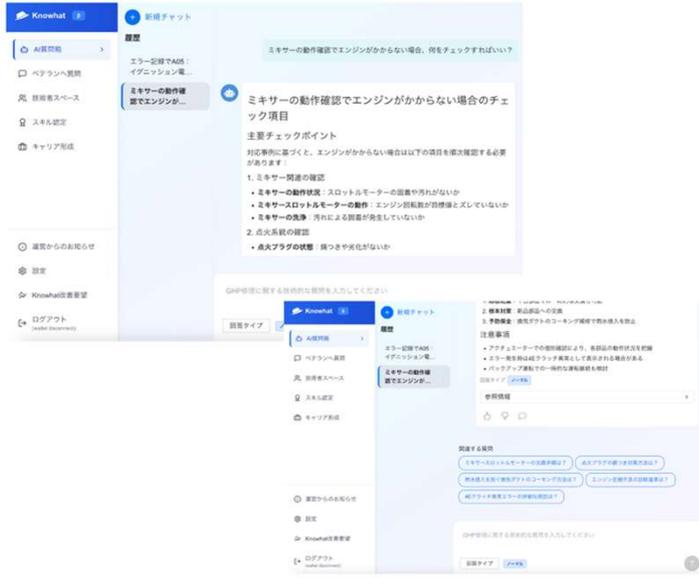


Knowhat機能紹介：匿名参加ができるプロフィール「設定」

「設定」機能では、Knowhat内のユーザー名設定が可能。



Knowhat機能紹介：いつでもどこでも答える「AI質問箱」

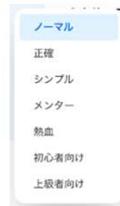


「AI質問箱」機能では、事前にデータインプットしているGHQトラブルシューティングの情報を参照し、AIが質問に回答する。

「ベテランへの質問」「技術者スペース」でのやりとりの内容もAIが自動集約し、データインプットする機能を有し、技術者同士のやりとりの結果がノウハウとして自動反映される。

また、AIが事前知識に利用した「参照情報」の確認、good/badおよびコメントでのフィードバック機能を具備。

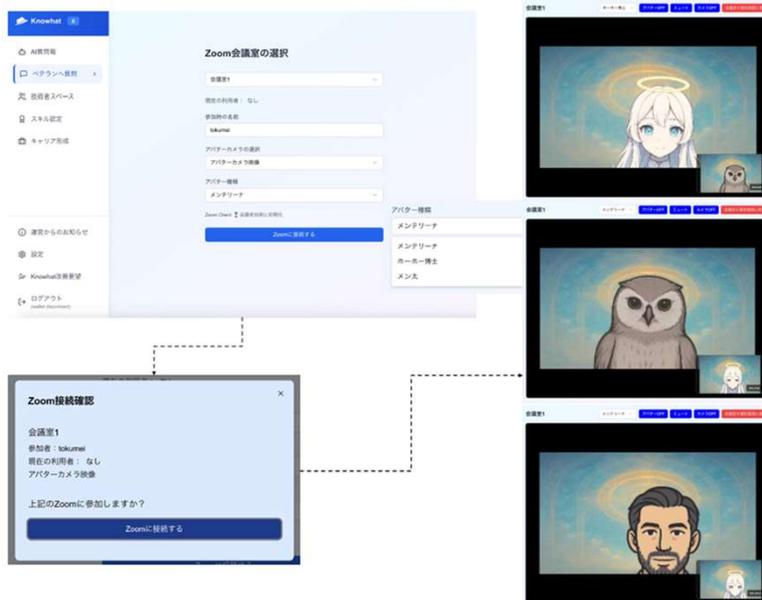
関連する質問の自動レコメンド機能も搭載。



【Tips】
遊び心として「回答タイプ」を左から選択できる。
選んだ内容に応じて、AIの回答の仕方が若干変化する。



Knowhat機能紹介：気軽に相談できる「ベテランへの質問」



「ベテランへの質問」機能では、若手が気兼ねなくベテランメンターと相談ができる場を提供。

【会議前機能】

- ・会議室選択
- ・利用中のユーザ名表示
- ・参加者名入力（匿名）
- ・カメラ選択（アバター/リアル）
↳アバター種類：アバター3種

【会議中機能】

- ・アバター切り替え
- ・アバターOFF
- ・ミュート
- ・カメラOFF
- ・退出
- ・ボイスチェンジャー（自動）
- ・録音→TipsをAI質問箱知識変換（自動）



Knowhat機能紹介：知見を深め合える「技術者スペース」



「技術者スペース」機能では、チャットや知恵袋のように技術者同士での知識共有を経た交流ができる場として提供。

新規スレッドを作成し、「お悩み相談」「お役立ち情報」を選択し、エディタを使って投稿。

投稿されたスレッドには、コメントをすることが可能。また、投稿には閲覧数、いいね数、メッセージ数をそれぞれの投稿に表示。

お悩み相談では、コメントの中からベストアンサーを投稿者が選択する機能を具備。

選ばれたベストアンサーや、お役立ち情報は「AI質問箱」の事前知識として変換されノウハウが蓄積される。

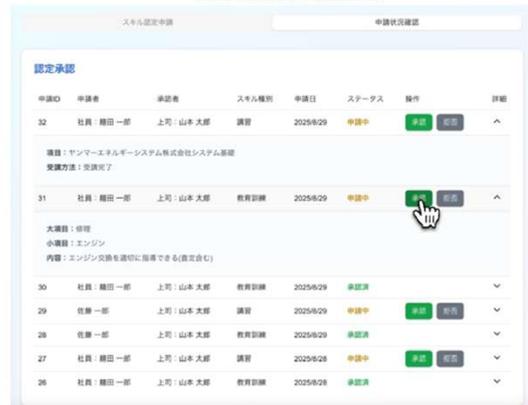


Knowhat機能紹介：モチベーションに繋げる「スキル認定」

スキル認定 申請側



スキル認定 承認側



「スキル認定」機能では、技能レベルをクリアした、資格を取得した、講習を受けた/教えたという節目において、自身の功績を可視化する認定NFTを申請することができる。

承認者を選択し、項目を選んで、NFT申請を行う

承認者は、申請者からの申告内容を見て、その基準を満たすと判断した時「承認」ボタンを押下し（満たさない場合は「拒否」ボタン）、スキルを認定するスキルを認定された証として、NFTをアチーブメントを発行する

[Tips]
NFT=いつ、誰が、何を、誰に認められたかを透明性を持って生涯に遡り証明してくれるデジタル資産となる



Knowhat機能紹介：自己研鑽・発信の場となる「キャリア形成」1/2

「キャリア認定」機能の「習得技術」では、習得した技術ランクを一元的に確認が可能。ランクはA～Cランクの技能をどれだけ習得したかで基準が存在。同一ランク内の中でも、A・B・Cそれぞれのランクの保有数によって順位が決定し、技術者間で競い合う事ができる。



【習得状況】				【ランク基準】			
ランク	習得対象数	習得済数	習得率	ランク	基準	習得済数	習得率
Aランク	272	0	0%	マスターⅢ	A-Cランク100%	0	0%
Bランク	448	0	0%	マスターⅡ	B-Cランク100%かつAランク50%以上	0	0%
Cランク	127	0	0%	マスターⅠ	B-Cランク100%かつAランク50%未満	0	0%
	197	0	0%	エキスパートⅢ	Cランク100%かつBランク50%以上	0	0%
				エキスパートⅡ	Cランク100%かつBランク50%未満	0	0%
				エキスパートⅠ	Aランク50%以上	0	0%
				アドバンスⅢ	Aランク50%未満	0	0%
				アドバンスⅡ		0	0%
				アドバンスⅠ		0	0%

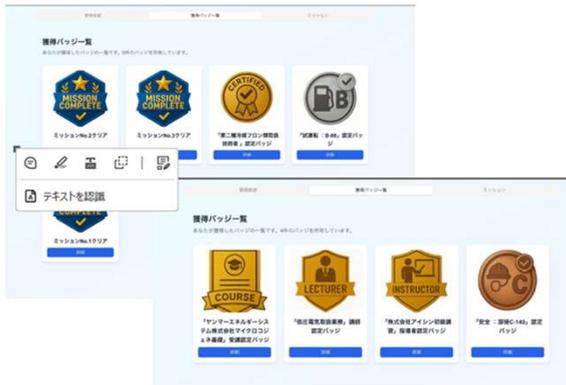


【Tips】同一ランク内では、A=3点、B=2点、C=1点で合計ランキングにしている

Knowhat機能紹介：自己研鑽・発信の場となる「キャリア形成」2/2

「獲得バッジ」では、自身の功績が可視化されて表示される。= 所有するNFTが表示されている状況。

「ミッション一覧」では、Knowhat内での行動を伴うミッションが記載されている。条件を満たすと、ミッションクリアバッジ (NFT) が自動発行される。



【Tips】バッジNFTは、SBT (Soulbound Token) になっており、一度発行すると譲渡が不可能なNFTである。ログイン中のwallet (googleID) に保有している状態であり、walletは他のKnowhat以外のサービスにも接続可能なため、サービス外に持ち運ぶことができる。 ※GoogleID (wallet) を無くしてしまうと、復元できないので注意。

Knowhat機能紹介：閲覧証明ができる「運営からのお知らせ」

「運営からのお知らせ」では、運営からのテキスト投稿を確認
その詳細を見ると、閲覧履歴としてNFTを受け取ることができる（1回まで）。
（以下はクレドカードの表示イメージの動画）



【Tips】
現時点では、管理画面はないため、
投稿は固定で置いてある状況。

Knowhat機能紹介：改善要望フォーム「Knowhat改善要望」

「Knowhat改善要望」は、リンク設置のみだが、外部改善要望フォームへ遷移する



2025年の崖

「2025年の崖」とは、経済産業省が2018年に発表した「DXレポート」で提起された、日本企業のレガシーシステム（時代遅れになった古い仕組み）問題とDXの遅れによる経済的損失の危機を指す言葉です。

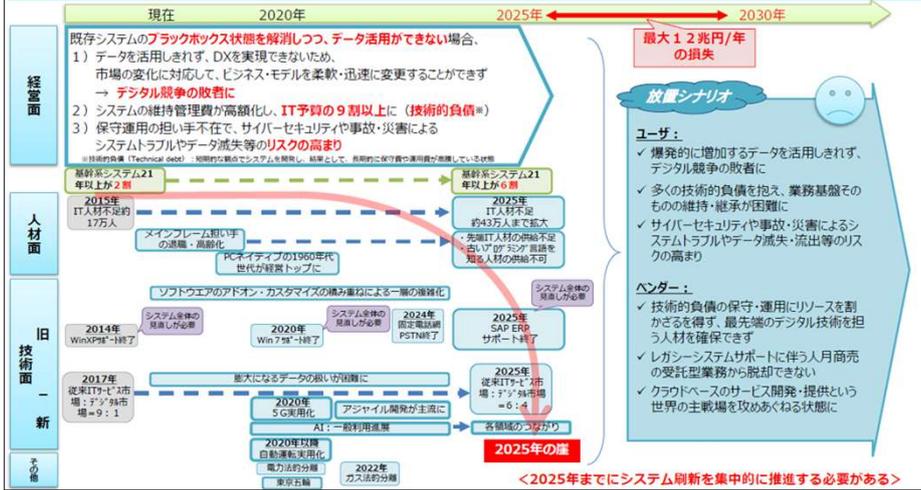
経済産業省「DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～」より（2018年9月7日）

2025年の崖

多くの経営者が、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネス・モデルを創出、柔軟に改变するデジタル・トランスフォーメーション（=DX）の必要性について理解しているが…

- ・ 既存システムが、事業部門ごとに構築されて、全社横断的なデータ活用ができなかったり、過剰なカスタマイズがなされているなどにより、複雑化・ブラックボックス化
- ・ 経営者がDXを望んでも、データ活用のために上記のような既存システムの問題を解決し、そのためには業務自体の見直しも求められる中（=経営改革そのもの）、現場サイドの抵抗も大きく、いかにこれを実行するかが課題となっている

→この課題を克服できない場合、DXが実現できないのみでなく、2025年以降、最大1.2兆円/年（現在の約3倍）の経済損失が生じる可能性（2025年の崖）。

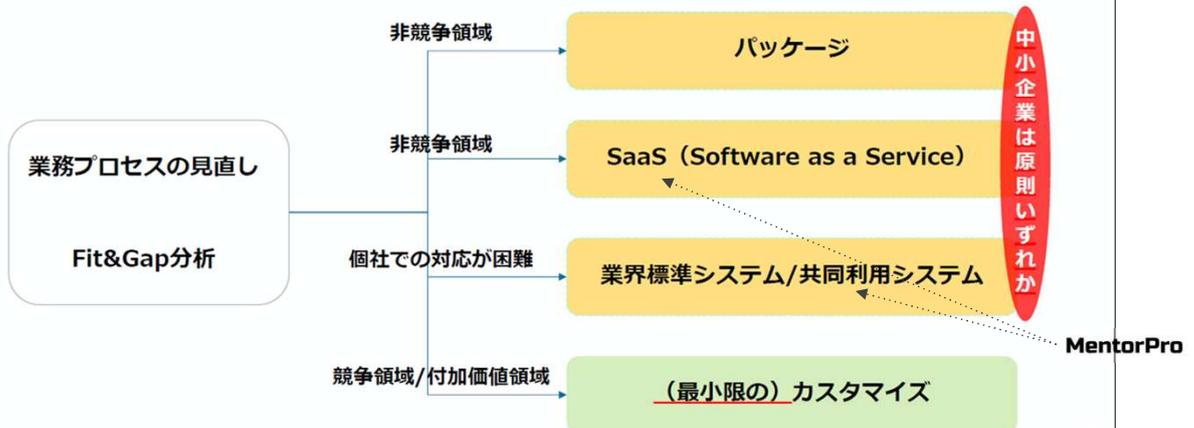


<2025年までにシステム刷新を集中的に推進する必要がある>

③標準化対応

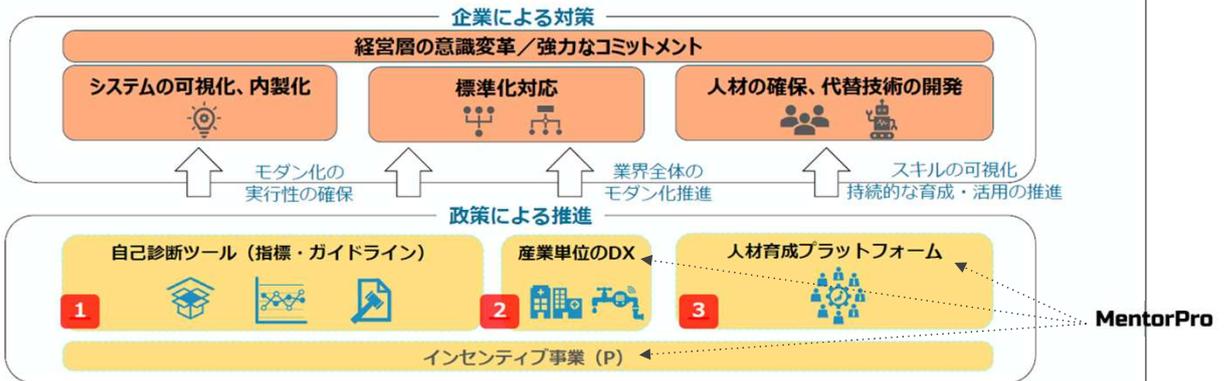
DXの阻害要因である現行機能保証や現行踏襲の拘りは棄てる。あるべき業務の姿から検討。

✓ 標準的な仕様に寄せる部分と、付加価値を作り込む部分とに明確に分離。



今後の政策の方向性

- ✓ 自己診断の仕組みとしてツールや指標、ガイドラインを整備。
- ✓ 個社の枠を超え産業単位でDX・標準化を推進。
- ✓ スキルの可視化・活用を推進する人材育成プラットフォームを構築。



Update NOW 25

なぜ、あの現場は請求書一枚からDXを成功できたのか？ ～現場が挑む、技術承継と変革の舞台裏～

N-B2 10.10 [金] 15:30 - 16:00

InvoiceAgent 事例 財務・経理 ペーパーレス・業務効率化 dejiren

なぜ、あの現場は請求書一枚からDXを成功できたのか？ ～現場が挑む、技術承継と変革の舞台裏～

「DXはどこから始めれば良いのか」と悩む企業は少なくありません。特に、熟練者の経験が重要なガス機器のO&M（運用・保守）現場では、その第一歩が業務変革の成否を分けます。本セッションでは、invoiceAgent 電子取引による「見積書・請求書の電子化」を出発点に、どのように現場がDXの壁を乗り越え、効率化と長年の課題である技術承継を実現したのか、その過程と成果をご紹介します。ウイングアーク製品活用による電子化・可視化が与える現場へのインパクトとは、明日から役立つヒントが満載です。

東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社
ファシリティー・マネジメント第一部
鷲見 祐典



東邦ガスエネルギーエンジニアリング株式会社

東邦ガスグループ



© 2025 Toho Gas Energy Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

